

## 校内スポーツ大会の実施の可否について（意見聴取）

2020. 5. 27. 職員会議

来たる7月1日（水）に予定されています校内スポーツ大会（仮称）の実施の可否について、ご意見をお聞かせください。

（参考）

現時点で想定される校内スポーツ大会（仮称）の内容とタイムスケジュール

9:00	児童生徒登校	各教室において健康チェック、トイレ等
9:45	多目的室において開会式、対戦組み合わせ抽選等	
10:00	競技開始	多目的室において対戦 ポッチャ又はディスクビンゴ 3チーム（12・34年合同チーム、56年チーム、中学部チーム）対抗リーグ戦
11:45	閉会式、結果発表	
12:00	終了	

## 校内スポーツ大会の実施の可否について（意見聴取） 集約結果

2020. 6. 3.

- ・練習時間も短く、感染の恐れもあるので無理して行うものでもないと思います。中止を希望します。
- ・体育の授業が、いつからできるかわからない状況なので、今年度は中止した方がいいと思います。
- ・一学期の実施は難しいと思います。運動会が中止なら、スポーツ大会は延期して実施しても良いのかも  
しれませんが、病院内の学校で重度の子どももいることを考えると、中止もやむを得ないと思います。

・はじめに今回コロナウイルス感染拡大の影響の観点から7月1日に行われるスポーツ大会は中止ではないかと思っていました。こうして幅広く意見を募り、合意形成の下で決める形をとって頂いたこと、とても嬉しく思います。本当にありがとうございます。

初めて学校に来て、例年の取り組みの内容や先生方の大変さを知らない自分が、こうして意見を述べることは身勝手にも思いますが、せっかく意見を述べる場合を与えて頂いたので、思っていることを正直に述べます。まず文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（5月22日）」と「学校の体育の授業におけるマスク着用の必要性について（5月21日）」を読んでみると、

「体育の授業におけるマスク着用については必要ないが（着用自体を否定するものではない）、児童生徒間、教員と子ども間は2m以上確保すること」

「可能な限り屋外で実施すること。もし屋内の場合は呼気が激しくなるような運動は避けること、ドアを広く開けこまめに換気・消毒すること」

「医療的ケア児の場合、授業への参加は強制せずに、児童生徒や保護者の意向を尊重する」旨が記載されている。また体育授業におけるリスクとして、密集における飛沫感染、物を介しての接触感染、マスク着用による酸欠・熱中症、冷房によるウイルス拡散などが挙げられていた。こうしたことを鑑みると、多目的室でポッチャまたはディスクビンゴを行うという今回のスポーツ大会の内容が、3密を避けられない可能性があり、また仮にマスクを着用して臨むとすると、熱中症などの危険性が生じる可能性もあることから現時点では厳しいといえそうです。ただ僕自身はスポーツ大会の中止には進んで賛成できません。今回のコロナウイルスによる半ば一方的な強制により始まった休校は3か月近くにも及び、その間子どもたちは外出自粛・在宅での生活が強いられた日々が続きました。一人で過ごすこともきつと多くなり、友達などの集団と一緒に活動できる機会は奪われました。

子どもたちの中でも学校がなかなか始まらず、いつまでも日常に戻らず、不安な気持ち、いろいろ

する気持ちが湧いてきた子ども少なくないと思います。もちろんコロナウイルス感染は命にかかわる重大なものですので、自粛することがだめだと言うつもりは決してありません。コロナウイルスの感染がいつ終息したと判断してよいのかわからない状況では、学校再開後の活動も縛られたものになることも一定仕方のないことかもしれません。「コロナウイルスから命を守る」このことは理解しているつもりです。特に本校の場合は医療的ケアの子どもがいる中で特にそうだと思います。ただ一方で、学校での学びがすべて個別化になってしまっているのだろうかという危機感を抱いているのも事実です。特に体育には、体を動かしながら、楽しみ、精神的なストレスの発散や、体調・健康面の向上や、個人での力量の向上はもとより、友達などの他者と一緒に集団で行なうことで得ることのできる体験があります。個人的な活動だけでは決して得られない異質共同の学びにより「この子どもこんなに頑張っている。私もやってみよう」「もう少し頑張ってみよう」と思える発見などがあると思います。そうした文化を子どもに伝えること、楽しさを子どもと一緒に発見することもまた学校の果たすべき役割の一つではないでしょうか。体育には特にこうした運動文化が含まれていると考えています。特にスポーツ大会などの行事では、普段の学習指導だけでは得られないような達成感やドキドキ感、みんなと一緒に活動できる安心感も得られると思います。大手前分校での行事が少ない中で、そうした場を子どもから奪ってしまう、断念してしまうのは残念でなりません。特に教科グループの子は教科学習ばかりになってしまわないかとも感じます。コロナの今後のことも考えると、実施が難しいのもわかります。ただ子どもたちの1年間に1度しかない大切な行事をなくすことはとても悲しく思います。ほかの多くの先生方が中止といわれるのであれば、そこはしっかりと受け容れます。しかし、表現運動やカーリング・ボッチャ・ボーリングなどの（ターゲット型ボール運動）、文部科学省が具体的に示している感染対策できるもので、教育活動が可能な他の時期に延期をして、せめて縮小して違った形で子どもたちができたらと思います。本当に無知で失礼な意見で申し訳ありません。最後まで読んでいただければありがたいです。

- せまい空間で密を避けることが難しいこと、授業数確保の観点から今年度は中止した方が良く思う。
- 中止。 7/1では、授業が6限まで通常通り実施できていない。
- ボッチャもディスクビンゴも密接な介助を必要とされるし、声を出して応援もしにくい。授業時数確保  
の点でも通常授業の実施の方が良いと思う。
- 多目的室に多人数が密集して、ソーシャル・ディスタンスを保つことが困難である事、対戦のない  
チームが観戦するスペースを確保できない事、現時点からでは十分な練習時間を確保することが困難である  
事などから7月の実施は見送らざるを得ないとする。
- 多目的室に2チーム入ると、かなり密集状態になると思います。中止でいいのではないのでしょうか。
- 状況が良好であれば日付（日程）等、賛成です。宜しくお願いします。
- 可能であれば実施できればいいと思います。
- 運動会の実施についての意見聴取のところでも書きましたが、基本的には子どもたちの安全（感染防止）を十分担保してやるでよいと思います。
- 6月の授業が分散登校から始まり、3週目まで隣接の授業となっていますので、今回に関しては行内スポーツ大会は難しいのではと思っています。
- すでに3週間後になりますし状況がわからない中、たくさんで集まるような大会は7月1日に実施するのは難しいと思います。もし落ち着くなら2学期にでも実施できたらいいのかな、と思います。

## 運動会の実施について（意見聴取）

2020. 5. 27. 職員会議

来たる10月10日（土）に予定されています運動会の実施について、ご意見をお聞かせください。

（参考）

日時 2020年10月10日（土） 9：10～14：40

代替休業（学校） 10月12日（月） \*雨天等で延期の場合も代替休業  
雨天の場合 予備日：10月14日（水）

\*10月10日（土）が雨天延期の場合は、午前中（月1～4限）の授業を行う。

\*当日の雨天等による延期の決定は6：45に教頭と生活支援課長補佐（瀬尾）と体育的行事係で行い◎学校→連絡網で保護者に連絡する。

◎生活支援課長→病舎（夜勤リーダー）と訓練課（要確認）：関係者に連絡する。

場所 大阪赤十字病院附属大手前整肢学園運動場

### 種目数およびプログラム

種目数：全体種目（3） 児童・生徒の部（3） 幼児の部（2）  
幼児保護者の部（1） 保護者・職員の部（1） 入園青年部（1）

合計11種目

#### 【5月時点の支援教育課の見解】

Q12 夏季休業開始前に予定している教育活動について、実施してもよいか。

A：現時点では次のように対応をお願いします。

- ・運動会……延期または中止、または内容を見直して「3つの密」を避けたくて、別の形で体育（運動）に関する参観を実施する等

6月3日（水）までに、ご提出願います。

### 運動会の実施について（意見聴取） 集約結果

2020. 6. 3.

- ・3密を避けられないし、他府県からも（保護者等が）来校するというのを聞くと、今年度は中止した方がいいと思います。
- ・10月にはどうなっているかわからないが、リスクが高いと思います。学園が実施を希望したとしても断るべきだと思います。中止を希望します。
- ・今年度は、学校と学園が一緒に行事を行うのは難しいと思います。今後、コロナが終息する見通しもなく、季節的な事も考えると延期も難しいと思います。今年度は、中止が無難かと思います。
- ・夏休み期間が2週間ほどとなり、準備期間の確保、冬にかけて第2波が予想される時期、テントなどの3密が避けられない可能性を考えると従来の実施は厳しいと思います。また学園側のご意向もあることから一緒での開催も厳しいかもしれません。ですが、子どもたちにとっては1年間に1度の大切かつ大きな行事だと思います。スポーツ大会と同様、すべて中止にはしてほしくないというのが率直な思いです。プログラムの短縮などの見直しや参加者をグループに分けて、例えば2部実施するなど複数の方法を検討してみたいと思います。加えて保護者の同意も必要だと思います。実際に保護者や子どもたちの意見も聞いてみたいです。

- 10月ごろの感染状況がどのようになっているのか分からないのですが、感染対策（物品の消毒、密をさける）などが昨年と同じ状況にもどるとは考えられないこと、授業時間確保の観点から中止にしても良いのではないかと思います。
- 今の状況では実施は困難。授業が通常通り行われてから、次は行事を実施するかを検討に入れると思うので、今年度は無理だと思う。
- 今年については実施しなくてよいと思う。
- 10月にどのような状況になっているのか分からないので難しいですが、1学期に運動会を予定されていた学校は中止になっているらしいので、今年度は中止でも仕方ないのかなと思います。
- メディア報道を見ると、秋以降、第2波・第3波が予想されている事、屋外での実施とは言えテント内に密集することが予想される事、競技・演技を行う際には濃厚接触が避けられない事、他府県からの保護者の来校には制約が加えられる可能性がある事、不足している授業時間数を確保するために行事を中止せざるを得ない状況がある事などを考慮すると、今年度の運動会の実施は困難であると考えます。
- 三密を避けて実施することが可能で、病棟と保護者から強い希望があるのであれば実施すべきだと思いますが、運動場で全員集まるとどうしても密になってしまうかと思います。室内と屋外でグループ分けをしたり時間をずらす等の工夫が必要かと思います。
- 夏期以降の状況により日程の変更または校内行事におきかえる対応でよいのではないかと思います。宜しくお願いします。
- 時間を短縮するなどして実施できればいいと思います。
- 子どもたちの安全（感染防止）が十分担保されるという条件のもとで実施したらと思います。ただかなりの制限が加わるので、できないことが多く、運動会という名にそぐわない内容となり、そこまでしてやらなければならないのかという考えもでてくるかとは思いますが。また授業時数の確保という観点から、練習時間の確保できるかという問題もでてくるかとは思いますが。ただこの二つの件に関しては、運動会そのものが簡素化されていたら、それに応じて練習時間も少なくてもすむかもしれないと思います。
- 本校の運動会は10月に学園との共催で行うということで、その点で今意見を言わせていただくのがまとまらず、すみません。もし実施する場合も以前午前中のみの実施にするためプログラムを組んでいただいたように午前中で終わるように種目数をしぼる等考えられるのかとだったりします。係の先生方にはお世話をおかけします。
- 学園との共催なのでどうするか難しいですが、この時期に考えなければならないとしたら実施はむずかしいかなと思います。テントの中で子ども同士の距離をあけるのは無理かなと感じます。

楠橋部分的に編集